

まちの再生・活性化に向けて、進められた2017年度の事業

1 「みつかわ夢の丘公園」がオープン



平成25年から建設が進められていた三川地区の「みつかわ夢の丘公園」が開園しました。この公園は、「袋井市夢の丘墓園」に隣接し、面積は周辺の森林を含め約20ha、各種遊具や自然の地形を活かした芝滑り、散策道が整備されています。総事業費は9億6千万円。建設には太田川河口拡幅工事に伴う浚渫土が使われています。(2018.3.25)

4 上山梨第三土地区画整理事業が完了



平成24年度から進められてきた上山梨第三土地区画整理事業が完了し、平成30年2月10日完成式が行われました。施行面積は、7.1ha、総事業費は8億2980万円、合算減歩率は46.01%。この区画整理事業によって、地区内建物数は101棟(平成29年12月15日現在)、推定人口は施行前の8人から330人に増加しました。

7 浅羽海岸の防潮堤建設工事



南海トラフ巨大地震の津波に備え、浅羽海岸の防潮堤建設工事が進んでいます。既に昨年、4つの命山が完成しました。防潮堤の延長は5.35km、高さ12m、幅80m~120m、頂上部には植林が施されます。防潮堤の土砂は、豊沢工業団地から搬送されていますが、現在、市の施行分の進捗は3.5km、最終的に完成するのは平成40年の予定です。

2 袋井北小学校の校舎増築



袋井北小学校の校舎増築が完了し、3月29日に落成式が行われました。今回増築した校舎は3階建て6教室、総事業費は3億4584万円。今年度入学した生徒は179人で、全校生徒数は1,010人となり、磐周地区では1番のマンモス校となっています。今後も生徒数の増加が予想されています。



▲教室の中は木材が多く使われ、自然な懐かしい感じがする雰囲気になっています。

5 進む豊沢工業団地の造成



平成27年に県の内陸フロンティアの指定を受け、造成が進められていた豊沢工業団地が姿を現してきました。面積は7万6800㎡、造成地にはトッパン・フォームズ㈱のグループ会社であるトッパン・フォームズ東海㈱、トッパン・フォームズ・サービス㈱が進出を表明しており、来年の竣工を目指しています。造成のため削られた60万㎡の土砂は、浅羽海岸に運ばれ、防潮堤工事に使われています。

8 沖之川流域の治水対策

沖之川流域の治水対策として、本川の拡幅工事と共に、支川である大谷川、油山川、村松西排水路、鷺巣川の改修が進められています。しかし相次ぐ台風や前線による集中豪雨により、浸水被害が続いています。時間が掛かる工事ではありますが、引き続き工事の進捗を早めていくことが求められます。



鷺巣川の拡幅改修

鷺巣川は、5年に1回の洪水(11㎡/s)に備える計画になっています。しかし下流の沖之川の流下能力が十分でなく、上流の久野城址南遊水池の建設も平成32年度からと遅れています。



沖之川の改修工事

新旭橋付近の左岸の工事が進められています。現在は2年に1度の安全度しかなく、改修によって5年に1度(35㎡/s)の流下能力を確保する工事が進められています。

◀沖之川流域の内水氾濫 鷺巣地区(2017.6.21)

2 周南中学の校舎増築



周南中学校の校舎増築工事が完了し、3月29日に落成式が行われました。今回増築した校舎は3階建て、木工室、金工室、理科3教室、会議室等で総事業費は4億2775万円。周南中学校の生徒数は近年増加し、全生徒数は、651人となっています。

6 第一三共跡地の土地利用



ヨシコン㈱が所有している第一三共跡地の土地利用につき、11月26日同社から地元への説明会がありました。それによれば、全体計画面積は約177,000㎡、全体を4区画に分割し、インター通線に面した西側2区画は商業系用地、東側2区画は工業・物流系用地として開発していく計画です。

計画では、山林部分を削って面積を広げると共に、全体をかさ上げし、それぞれの区画毎に地下式調整池を設けることになっています。造成工事の予定は本年度から、建築工事は平成31年度からを予定。なお、南側の旧パチンコ店跡地には、大型家電ショップの建設が予定されています。



私の一般質問から

この1年、市民の皆様からいただいた様々なご意見、ご要望をもとにそれぞれの議会一般質問をしてきました。より良い市民生活のため、少しでも市政の発展を図ることができれば幸いです。詳細は、市のホームページをご参照ください。

久能地区の排水計画

問 同地区を流れる田町幹線排水路の延長計画と今後の見通しを伺う。

答 同排水路は土地区画整理事業が事業化に至らず整備が進まなかった経緯がある。次期整備計画では、流域内の土地利用状況を見ながら整備を検討していきたい。

訪日観光客の誘致方針

問 国を挙げた訪日観光客の誘致が進められているが市の方針はどうか。

答 当市の訪日観光客は、タイ、中国、ベトナムが多いが、東京・大阪のゴールデンルートの中地点で、一時休憩として立寄ることが多い。市内の観光施設に足を伸ばしていただくよう働きかけていきたい。

コミュニティスクール研修会

問 地域と学校のあり方を考える学校運営協議会の研修会が開催されたが、どのような成果があったか。

答 小学校3校から実践発表が行われ、示唆に富む発表があった。他校の活動を知る良い機会となったので今後も充実を図っていきたい。

公共用地の利活用

問 公共用地利活用委員会での検討状況はどうか。

答 市民体育館跡地の利活用については、もう一度地域の皆さんの声を聞いていきたい。消防署の跡地、未利用の祢宜弥地区の市有地など今後の利活用については、民間のノウハウも視野に入れて進めていきたい。

農地転用時の周辺地権者への配慮

問 農地転用を許可する場合には、周辺地権者の意向を十分に聞くことが大切と思うがどうか。

答 制度的には隣接者の同意書等は義務付けられていない。しかし可能な範囲で事業の周知をお願いし、周辺農地の円滑な営農に配慮していきたい。

アジアの都市との友好・姉妹提携

問 近年交流のある中国、台湾、ベトナムなど、当市と歴史的なつながりのある都市との提携について、どのように考えているか。

答 アジア諸国との交流は、市の将来の発展からも必要と考えている。大切なのは市民の交流の姿勢、提携の話があれば真摯に聞いていきたい。

